

## ◇編集後記◇

本年4月から竹下達也前編集委員長の後任として、日本産業衛生学会編集委員長（任期2008-2010）を務めさせていただいております川上です。学会員の皆様の編集委員会活動へのご協力に深く感謝申し上げます。編集後記の場を借りまして、ひとこと所信表明のご挨拶を申し上げます。

新編集委員長としての大事にしたいと考えておりますことの第一は、副編集委員長の権限や役割を強化することです。新編集委員会では編集委員が従来の30名から40名に増員となり、また7名の副編集委員長による編集小委員会が編集活動を牽引する、強力な体制で臨んでいます。各副編集委員長に投稿論文の査読者の決定、受理やリジェクト（掲載不可）判断の権限をもつていただくこと、また投稿規定の改定など重要な案件に中心的な役割を担っていただくことで、編集委員会活動がこれまで以上に効率的に進むものと期待しています。

特に、英文誌Journal of Occupational Health (JOH) につきましては、2007年のインパクトファクターはなお1.597と、世界の産業保健専門誌の中でも堅実な位置を保っております。これは竹下編集委員長をはじめとして前編集委員会のご尽力のたまものであり、新編集委員会も引き続きJOHの水準の維持・向上に取り組んでまいります。現在JOHには、年間に約250件の投稿があります。2008年4～6月の間もすでに60編の論文投稿がありました。うち半数は編集小委員会により審査前リジェクトになりました。査読後にリジェクトになるものと合わせると、投稿論文のうち掲載に至るものは約3割程度となります。以前のJOHでは、仮説や研究デザインの明確でないもの、投稿規定に沿った体裁に整っていないものについても、編集委員および査読者が教育的に助言して掲載に至ることもありました。しかし現在は状況が異なり、投稿論文は投稿された形そのままに審査され、掲載の可否が決まることとなります。この点を、論文投稿をされる場合、あるいは編集委員会から査読をお願いいたしました場合には、ご理解をいただきたいと思っております。

新編集委員長としての第二の方針は、編集委員会と投稿者・読者とのコミュニケーションを促進することです。上に述べたような国際誌としてのJOHの水準の維持のために、JOHが学会員にとって高嶺の花になってしまうことは望ましくありません。論文投稿時にどのような点に気をつければいいのか、どのような論文が掲載されやすいのかについて、学会誌、HPあるいはその他の場を通じて、皆様に情報を提供する機会をつくってゆきたいと考えます。その第一弾として、第18回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会（愛媛）では、2008年11月28日（金）12～13時に松山市総合コミュニティセンター第5会議室にて、「編集委員長と話そう：産業衛生学雑誌・JOHが求める論文とは、そして雑誌の将来像とは」という学会員との自由な意見交換の場を持つ予定です。ご参加いただければ幸いです。

また、和文誌である産業衛生学雑誌を学会員の間でのコミュニケーションの場として活用できないかと考えています。わが国の産業保健は現在、さまざまな挑戦に直面しています。本学会でも、産業医部会を中心としたリレーシンポジウムで職場内格差の問題がとりあげられています。本年開催されました第81回日本産業衛生学会（札幌）では「人間らしい労働」とワークライフバランスの問題が広角度から議論されました。こうした、今現場で起きつつある産業保健の課題についての問題提起、実態把握、対策の好事例などのご投稿をいただけるとうれしく存じます。またこれらの論文に対しては、著者以外の専門家にコメントを依頼するなど、1つの問題を多面的に読者が理解できるような工夫もしたいと考えています。

いずれにせよ、このような新編集委員会の活動は、学会員の皆様のご理解、ご支援の上のみ成り立つものであります。船出早々、大変な激務にさらされており、現状では懸命に責務をまっとうしております段階の新編集委員会でございますが、これまでと同様に、新編集委員会に対しても皆様のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

（川上憲人）

## 「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：川上憲人（東京大）

副委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大）、井上和男（東京大）、上島通浩（名古屋大）、  
車谷典男（奈良医大）、堤 明純（産業医大）、森 満（札幌医大）、森本泰夫（産業医大）

有澤孝吉（徳島大）、石竹達也（久留米大）、市場正良（佐賀大）、小笹晃太郎（京都府医大）、掛本知里（東京女子医大）、川口陽子（東京医歯大）、熊谷信二（大阪府公衛研）、黒沢洋一（鳥取大）、河野公一（大阪医大）、酒井一博（労働科学研）、榊原久孝（名古屋大）、澤田晋一（独法労働安全衛生総研）、塩飽邦憲（鳥根大）、菅沼成文（高知大）、笠島 茂（国立保健医療科学院）、埴田和史（滋賀医大）、竹内 亨（鹿児島大）、田中昭代（九州大）、谷川 武（愛媛大）、土井由利子（国立保健医療科学院）、中尾睦宏（帝京大）、橋本英樹（東京大）、馬場園明（九州大）、濱田篤郎（海外勤務健康管理センター）、福島哲仁（福島医大）、丸山総一郎（神戸親和女子大）、三木明子（筑波大）、村田勝敬（秋田大）、森河裕子（金沢医大）、八幡勝也（産業医大）、吉田貴彦（旭川医大）、若林一郎（兵庫医大）、渡辺博且（産業医大）

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階

電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番